

# 榊原病院 Monthly

この病院で最も大切なひとは  
治療を受ける人である  
The most important person in this hospital is the patient.

Vol.56

2022.June

独立行政法人国立病院機構 榊原病院  
National Hospital Organization SAKAKIBARA

## 院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ

1991年富山医科薬科大学医学部卒

1996年同医学部大学院卒

2014年国立病院機構北陸病院精神科部長

2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。

日本司法精神医学会理事。



## 診療科

- 一般精神科
- アルコール・薬物依存症  
専門外来
- こころのリスク外来

## 病床数 175床

- 精神科病棟 157床
- 医療観察法 18床
- 強度行動障害ユニット

## 病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

### 地域と共にある榊原病院

副看護部長 清水 初美

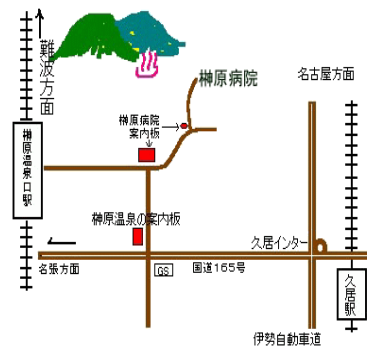
令和4年4月に副看護部長に着任しました清水初美です。  
どうぞよろしくお願いいたします。

三重県には旅行などで何度か来させていただきましたが、この榊原の地は初めてです。2月の下旬に前任地名古屋で榊原病院への転勤を聞き、翌週には早速部屋探しのため、車を走らせてこちらへ伺いました。元々は岐阜県奥の山奥で育ちましたので、自然豊かな榊原の地には懐かしさと心地の良さを感じ、車の中でしたが思わず深呼吸をしました。着任後は慌ただしく日々が過ぎていますが、朝の鳥のさえずりには毎日癒やされています。

5月14日には、コロナ禍の延期により半年ぶりとなった市民公開講座と地区の「歩こう会」が開催され、参加させていただきました。土手の草がきれいに刈られ、田んぼに黄緑色の苗が並ぶ中、自然を目と耳と肌で感じながらゆっくり40分ほどかけて歩きました。地域の方々とお話をさせていただきましたが、名古屋弁に慣れている私からしますと、三重の言葉はイントネーションがとてもやさしく、聞いていてホッとすることがあります。病院の職員が患者さんにお声かけする時もやさしいイントネーションと安心できる雰囲気があります。そんな様子を見ていると、榊原病院は病院の敷地内だけが“病院”なのではなく、この自然豊かな環境や地域を含めて治療、療養の場なのだと思います。

昨年の10月に改修工事を終えた病棟は、精神科としては珍しいオープンカウンターとなっており、日中は患者さんが過ごされるホール（共有スペース）とナースステーションがひとつの空間として繋がっています。榊原病院の理念は、「この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である」です。大切な患者さんと空間、時間を共にし、常に寄り添っていただける病院でありたいと思います。今後も患者さんと、そして地域と共にある榊原病院をどうぞよろしくお願いいたします。

最後に……。病院近くの田んぼでは「田んぼアート」の催しがあるとのこと。稲の生長と共に広い田んぼにどんな絵が浮かび上がってくるのか、今からとても楽しみです！



電車・バス/ 近鉄久居駅下車 三交バス  
(車庫前行き) 約30分  
自動車/  
久居インターより約20分  
マイクロバス/ 久居駅より直通バス(約25分)



## 地域医療連携室だより

### 〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

## ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

## 治療抵抗性精神疾患への医療

### 〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和4年5月までに全症例は129例となりました。新規導入は4月2例、5月1例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



## 認知症医療、こころのリスク外来

### 〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。



### 〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

## デイ・ケア案内

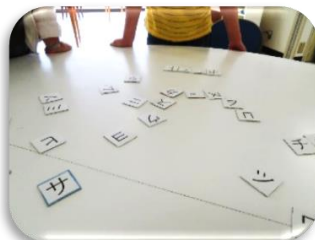
デイケア室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ショートケアのみを実施しています。時間は月、火、水、金の午前9:30から午後12:30までと、水曜日の午後12:50から15:30までです。もしも朝が苦手だったり、午前中は別の予定があったりする場合は、水曜午後のショートケアをご利用ください。デイケアに通うことで、生活リズムを整える、気分転換する、社会活動参加の準備をする、コミュニケーションの機会になる等の効果があります。

スポーツ、散歩、一人でのカラオケ、アート、手芸、音楽鑑賞、クイズ、脳トレ、こころの勉強等のプログラムを用意しています。プログラム表は外来や、病院のホームページにあります。

みなさまと、心地よい時間を一緒に過ごしたいと思い、デイケア室でお待ちしています。



コスモスがすくすくと育っています。



楽しく、頭をつかう、言葉ならべゲームです。



体育館で、すっきり運動の時間です。

ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。



## 栄養コラム



### 「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」 炭水化物の内容をより詳しく掲載

「日本食品標準成分表」は日常的な食品の食べられる部分100gあたりに含まれる栄養成分（炭水化物、たんぱく質、脂質など）やエネルギーなどの数値が掲載されているものです。昨年、改定版である2020年度版（八訂）が公開されました。

これまで炭水化物には、消化性が高いもの（でんぷん、単糖類、二糖類）と、消化性が低いもの（食物繊維や糖アルコール）まで、多様な成分を含んだ値で掲載されていました。しかし、この2つでは、発生するエネルギー量がそれぞれ異なっています。このことから、これまで炭水化物に含まれていた消化性が高いものを「利用可能炭水化物」として、低いものは「食物繊維総量」、「糖アルコール」として掲載されました。つまり、炭水化物の内訳をより詳しく示すことで糖類の摂取量・摂取エネルギーを正しく把握することができるようになりました。